

## 域振興計画(中間案)パブリックコメント等に対する京都府の考え方

対象	ご意見・ご提案(要旨)	京都府の考え方
全体	それぞれの地域の特性をうまく活かし観光にも利用して欲しい。	地域振興計画では、各局がそれぞれ地域の特性や資源をふまえた、観光・交流に取り組むことを検討しており、地域間の交流や新たな観光形態への対応も含めて、観光への取組を進めることを考えております。
山城	西山の竹を水墨画に使用するため、書画紙に活用出来ないか。	竹については、竹炭、竹細工をはじめ様々な利活用事例がありますが、今後とも幅広く活用方を考えていきたいと思っております。
	計画が具体的にどのような取り組みがなされ、どのような形で参加出来るのか、その流れがよくわからない。実現するにあたり地域ごとの対話も重ね、明日に向かって発展し続ける山城地域を考えてほしい。	山城地域振興計画では、4つのめざす地域の将来像を掲げ、その実現に向けて4つの施策の基本方向を示しています。そして、各々の基本方向に沿った具体的施策(例えば「健康で互いに支え合う安心社会の実現」のために「健康長寿の地域づくりの推進」する等)を掲げ、住民・NPO等地域団体・大学・行政等がお互い対等なパートナーとして共に施策を進めていくことを基本的な考え方としております。また、地域性の高い重点課題については、「地域プロジェクト」として取り組んでいくこととしています。
	「山城地域振興計画」は具体性に欠け、見劣りするのでは地域を掘り越して具体的な計画にしてほしい。また「4つの地域」と「京都市域」との連携も考え、交通・人的交流・経済交流を強調すべきではないか。	山城地域は京都、奈良、大阪に接し、近隣都市との交流が活発な地域です。そういった地域特性をさらに活かすべく、「地域産業の強み・知恵と力を磨き、京都府経済をリードする地域」「ひと、もの、情報が交流し、新たな活力を生み出す地域」との将来像を掲げ、施策を進めていきます。また、域内外交流の促進と活力ある地域創造に向けて、「広域観光・交流創造プロジェクト」としても取り組んでいきたいと考えています。
	京都市内に単身赴任してきて、12年になるが府の南部地域の元気のなさが気になる。	山城地域には、全国的に有名な宇治茶や歴史的文化遺産、関西文化学術研究都市など、多くの魅力ある地域資源(強み)があり、これらを活用するとともに地域性の高い重点課題については、地域プロジェクトにより、地域振興を図っていきたくと考えております。
	電車で京都に行くのは便利だが、市町内を移動する手段が乏しい。他市町にも行けるバスの路線・本数を増やしてほしい。	山城地域振興計画では、地域の将来像の1つとして「ひと、もの、情報が交流し、新たな活力を生み出す地域」をめざしており、「広域観光・交流創造プロジェクト」として取り組むとともに、交通基盤の整備を進め、市町村とも連携して地域交流の活性化を図っていきたくと考えております。
	地域を活性化するには、各市町村がそれぞれの特性を活かした振興計画を持つべき。	山城地域は15の市町村(7市7町1村)があって、多様な特性を持った地域です。それらの特性を最大限に活かして、管内の各々の地域の活性化を図り、そして山城地域全体の発展に繋げていく計画としていきたくと考えております。
地域ごとのカラー「色」が出れば、各市町村が協力し合い、競い合っているのではないかと、カラーが強く出れば出る程、魅力のある地域になる。		
子供を連れてそこで子育てをしたいと思えたら、素敵だと思う。	安心して子どもを育てることができるよう、地域における子育て支援体制や多様な保育サービスの提供等、「いつでもどこでも安心保育」を推進し、社会全体で子育てを支援するほか、地域の関係機関の連携による児童虐待防止や子育て支援ネットワークを構築し、「地域の子育て力」の向上を図りたいと考えています。	

南 丹	益々過疎化が進む中で、地方にも力を入れてほしい。	京都丹波の豊かな地域資源を活かして観光や都市農村交流などの取組を進めていくこととしています。
	皆が活性化・向上心を持ったり、生活が生き生き出来るように、農業や観光に対して府が援助をして貰いたい。	<p>今後の府政運営の基本となる「明日の京都」ビジョンの中に、地域ごとに目指すべき将来像と実現方法を示しているのが「地域振興計画」です。地域の資源や特色を活かした地域振興を図っていきます。</p> <p>京阪神からひと足のばしの恵まれた立地条件、豊かな自然や文化、食材の宝庫など「京都丹波」の強みを活かし、地元亀岡市、南丹市、京丹波町や関係団体との連携・協力はもちろんのこと、事業者など関係者の創意工夫、相互連携を得る中で、地域の活性化を図っていきます。</p> <p>御意見のとおり「農業」「観光」はこの地域の大変重要な分野と認識しており、農業と観光が一体感をもち、相乗効果を発揮するような施策を展開してまいります。</p>
	亀岡を周遊してもらうためには、トロッコの駅からのバスの運行が必要である。行政が一体となって観光客の足を確保してもらいたい。	観光による地域の活性化を図るためには、より多くの方に訪れていただき、域内での滞留、滞在時間を長くすることが重要と考えます。観光誘客、消費額の増加につなげるため、市町や関係団体と連携して取り組んでいきます。
	南丹方面へ行くときはレンタカーが必要になり、府外に出るよりもお金がかかってしまうので、公共機関がもう少し便利になってほしい。	豊富な地域資源を活かす観光振興に取り組み、京阪神地域からのアクセス・利便の向上、滞留、滞在時間延長のため取り組んでいきます。京都丹波地域は、地域住民やNPO等により環境保全に向けた活動が積極的に展開されています。多くの府民がこれらの活動に参加できるよう情報発信など様々な支援を行っていきます。
中 丹	京都・丹後京街道を整備したり、丹後(舞鶴)の魚を紹介出来る場所を府の第三セクターとして作って頂きたい。	農林水産業の担い手育成と食のブランド力の強化に基づく「ブランド商品の生産拡大とブランド力の強化」の中で、水産物の生産拡大を推進することとしており、今後、推進方策を検討していきたいと思っております。
	北部は益々人口も減り、子供も少なくなっている。就職口を増やしたり、若者の魅力的な町づくりをしなければならない。	中丹地域振興計画では、地域の特性を活かし、地域で支える子育て・子育ての推進や農林水産業の担い手育成、ものづくり人材の育成を進めることにより、中丹地域に住む人々にとって、住んで良かったと思える、この地域こそが輝かしい「みやこ」であると思えるような地域づくりを進めていきたいと考えております。
	1 国際戦略:環日本海経済圏との連携 舞鶴港は近畿圏の中でシェアがとれるかが課題。 福知山は京阪神との情報通信・物流等の機能充実が必要。 環日本海諸国に対する防衛力整備投資で潤う可能性がある。	<p>中丹地域振興計画では、中丹地域を関西北部・日本海側の中核的な地域とした上で、「府県を越えて広がる関西北部交流エリアの結節点」、「関西全域と北東アジアとを結ぶ日本海側の玄関口」として、中丹地域をより大きなエリアの中で捉え、「関西北部・日本海側の活性化の原動力、交流の『みやこ』」となることを目指してまいりたいと考えております。</p> <p>そして、5つの施策の基本方向に基づく重点施策を、5つの地域プロジェクト(5つの中丹地域戦略プロジェクト)により展開していくことを考えております。</p> <p>5つの中丹地域戦略プロジェクトにおいて、「世界をつなぐ拠点づくりプロジェクト」で京都舞鶴港ランドブリッジ構想をはじめとする将来に向けた拠点づくりを、「由良川里山交流連携プロジェクト」で兵庫県も含めた広域連携による地域交流を、「きらめく魅力発信プロジェクト」で積極的な魅力発信を展開していくことを考えており、各プロジェクトの中でご提案の意見も含め具体化を図ってまいりたいと考えております。</p>
	2 社会戦略:兵庫県との関係強化 山陰道と舞鶴若狭道とを結ぶアクセスルートの追加 京都新聞と神戸新聞の連携強化	
	3 地域戦略:北近畿の中核都市 北近畿の魅力をコーディネートして京阪神に重要性を訴える 周辺住民が集い、時間・お金を使える魅力を高める	
4 イメージ戦略:丹波の中心として「奥京都」を訴える 京都とのつながりを強調し、美意識を奥ゆかしさを訴える 兵庫丹波の「丹波」ブランドイメージを取り込みオール丹波で全国に売り込む		
5 産業政策 観光・観光関連産業の振興 舞鶴港を核とした環日本海諸国との海運振興 ターミナルケア産業の育成		

丹 後	<p>北部は益々人口も減り、子供も少なくなっている。就職口を増やしたり、若者の魅力的な町づくりをしなければならない。</p>	<p>丹後地域の更なる活性化を図るため、様々な産業に波及効果を及ぼす「観光」を牽引役として交流人口を増やし、丹後の豊かな「食」関連産業との連携や、ものづくり産業等地域産業の振興を図るとともに、Uターン等支援により、地元定着者を増やす取組を進めます。</p>
	<p>天橋立は、空き瓶・ペットボトルなどゴミがあふれている。ゴミがなくなって初めて世界遺産を目指すべきである。</p>	<p>天橋立については、河川流域及び海岸周辺の住民の皆さんとの協働により環境改善を進め、丹後の豊かな自然を守り育てる取組を進めています。また、海岸清掃や浸食対策などの環境保全活動により、美しい自然環境を守り活かしていく取組を進めながら、日本の文化景観の原点としての国際的価値を高め、世界遺産登録を目指していきたいと考えます。</p>
	<p>景観を活かした観光道路や列車を整備し、牧場などレジャーを楽しめるような施設をつくってほしい。</p>	<p>観光や産業振興を支える基盤づくりとして、京都縦貫自動車道の早期整備を図るとともに、丹後半島一周道路の整備など観光道路を整備します。 KTRなど公共交通機関と連携した観光プランや滞在を促進する旅行商品の開発を進めます。 丹後海と星の見える丘公園やマリンピアなどの体験型施設を活用するとともに、畜産体験と丹後半島の海と山・高原等の観光資源とが一体となった碓高原牧場の活用を目指します。</p>
	<p>丹後地方に久美浜漁港特別法を作り、自由貿易港として運用すれば、シンガポールのように発展すると思う。</p>	<p>京都府では、京都舞鶴港を核として、物流の活性化や、長距離フェリー、クルーズ船等を使った観光誘客を進めることとしています。 丹後地域でも、漁船等を活用したクルージングの運航区域拡大など丹後の美しい海を活かす取組を進めます。</p>